http://www.miyako-rotary.net/

2012年３月９日　あれから一年例会（第2612回例会）

開会点鐘

ソング　我等の生業

本日の行事　◎あれから一年例会

出席報告　吉田栄幸会員　２月中の出席率 78.4％

会員数	出席免除者数	出席数	出 席 率	先 週 の 修正出席率
29	0	13	44.8%	82.8%

ニコニコBOX

及川会員　宮古地域と皆さんがますます元気になりますように。

花坂会員　3/23に例会に先立ち、宮古水産高校の和船の進水式をやることになりました。各国の方々が来られるとのこと。日本の伝統的な神事を見せたいとの事です。しっかりと魂入れをします。

堀田会員　早退します。

幹事報告

例会の移動

次回　３月16日は夜例会となります。
場所は、レストランほりたさんです。
また、３月23日は「東京南ロータリークラブ歓迎例会」昼例会となります。

その他の報告事項

1、岩手県立宮古水産高等学校　校長　金野仁
●平成23年度卒業証書授与式について（御礼）

2、NPO法人みやこ自立サポートセンター 代表 大向正昭
●ポランの広場、みんなの家　ひまわり、月間サポステ

三浦会長挨拶

本日は3.11の２日前でございます。

あれから１年という事で皆様の思いを語っていただきたいと思います。

水産高等学校では以前よりスジメを商品開発をしておりましたが、震災のため昆布が収穫できずにおりました。その代わりとして試行錯誤の上できましたのが『海のプリン』です。今回は塩プリンに挑戦して見事に成功させたということで、是非、皆さんに召しあがっていただきたいという事でした。

また、山田クラブにおきまして、鎮魂の鐘の除幕式がありますので出席できる方は宜しくお願いいたします。

あれから一年例会

◎三浦会長

3.11は自宅の３階から津波をみて「もうだめだ」と思いました。

何かいろんなことがチャラになったという思いが頭をよぎった途端に気持ちが楽になった感じがしました。死ぬときの気持ちはこんなかなーと思いました。

また、ロータリーにおきましては、被災してすぐに浦和南ロータリークラブより支援金が送られてきたり、春日部南ロータリークラブからは支援金のほかに支援物資が部屋いっぱい送られてきたり、直接訪問してくれたりと、ロータリアンの絆を強く感じました。

復興基金の水産高校のバスにつきましては現在申請中です。

◎中野勝安会員

何を言っても慰めの言葉はできないと考えております。いつも笑顔で優しい言葉が今の私にできる事です。

◎及川穣会員

ご存知のとおり、うちは被害はなくここ一年を過ごしてまいりました。ロータリーでは復興プロの委員長に任命されながら、ほとんど会長と幹事に丸投げした状態でした。最近、地区より津波襲来記念碑の協力がございました。

縦1.5m、横15cm角の物だそうです。

「これを建てて果たしてうれしいと思う人がいるだろうか？」との話が理事会で話しあわれました。ほとんどの人が自分の庭に建てられてもかなわんという事でした。実際、被災して毎日石碑をみて暮らすのもかなりつらいものがあるのではないか。精神科の医者である弟にも話をしたら、やっぱり被災者の所へは建てられないし、市役所の前とかに建ててもらえればと思っております。それがだめであれば河川敷のロータリーの川柳の石碑の隣に建てたらどうか？とも思っております。みなさん、意見がございましたらよろしくお願いいたします。

◎佐々木順子会員

我が社は無事で、自宅も無事でした。震災から一年経ちますが、会社の朝礼では一年経って津波の被害にあった人も含めて、3.11の事は忘れては困るという意味も含めて、防災の意識を持ってもらいたいと思っております。

一年前のあの時は水などを用意して万全でしたが、１年も経つとそれらも用意しなくなっております。

会社の従業員で５名ほど家を流されたり、子供が亡くなったりという状況もありました。一時は元気がなく、どのように接して慰めていいのか困惑しておりましたが今は元気になり笑顔も見えるようになりました。ホッとしております。

◎金城光男会員

我が社的にはかなりの被害がありました。およそ２億円ぐらいだそうです。宮古支店の当社は海のそばでしたが被害はなく、内陸との違いがございました。あらゆる方面から義援金や支援物資を頂ました。今もお世話になった方々への恩返しができないでおります。

今は正直　全社的にどのような形でお返しができるかどうか？ここ１年とか２年とかではなく息長くお客様に恩返しができればいいと思っております。

被害者という意識ではなく、今後お役にたてるようがんばってまいりたいと思います。地震に対してはひどく敏感になっています。

◎阪東将男会員

早いもので１年が経ちます。先週の例会の時お話いたしましたが、息子が何とか工場を再開したいということで杭打ち式を行いました。

るということで動いています。ありがたいことです。会社を動かすということでやってますが、国からの援助が少し足りないということで走り回っています。自分たちでどうのこうのでなく、銀行関係にお願いするという形ですが…しかし岩手県の中でＯＫを出したのはたった１社だけだということです。申請は何百社からの申請があるようです。個人的にはどうしようもないというのが現実でございます。建設するのには数ヶ月、夏ごろまでには工場が動けばいいなあという思いで動いております。

現在大変なのは従業員が分散しており、どのようにして集めるかということで悩んでおります。震災後あちこちきれいになっていますがみんなをこの地域に止めておくということはむずかしいなーと思います。いずれにしても身内のことですがそのことで今動いています。

◎吉田栄幸会員

早いもので１年になります。私は地震の時岩手銀行の駐車場におりました。周りの電柱がたおれるのではないかと思うくらいの強い揺れでした。

揺れがおさまって2･3分してから末広町を通って市役所に用事があり向かいました。信号機はすべて赤でした。家に帰れば雑犬がまっているし、何か物がおちているか心配で、藤原を通って家路に着きました。

その時はまだ津波の存在はわからない状態でした。夜になって停電だと気づきました。次の日、津波があったことを知り歩いて下におりて行きました。

新築したばかりの薬王堂が柱を残しもぬけの殻になり、薬王堂の物品は全部流され、水産高校の方に流されたそうです。すごく散乱していました。隣のローソンも流されました。4･5年前の話になりますが私の勤めていた会社も藤原埠頭にあり、海に面しておりました。何回となく津波警報を受けていましたが避難したことはありませんでした。今回のことが4･5年前におきていたらどうだったのかゾッとします。行政の支援の仕方がとても遅いと感じました。とりあえず命があってよかったなーと思っています。

◎熊谷力実会員

皆さんの経験と同じですが、私の場合は金曜日例会の後ですが、岩手銀行に行って用事を済ませて車に乗ろうとしたところで地震にあいました。車を置いて末広町が混雑すると思ったのでホテルの方に歩いていきました。そして、車を取りに行こうとして元服部時計店の所まで来た時に津波が来たという事でホテルに戻ろうと思ったのですが、小さい頃の教えで（津波の時は高い所に）というメッセージが頭を横切りました。ホテルには幸いお客様がいないので横町にあります上の山にいきましたら、寒いところに15人ほどおりました。結局その中で一晩過ごしました。そのとき感じたのは携帯を持っていても通じない（ドコモはだめでした）ということです。家内は盛岡から帰ってきて宮古高校へ避難しました。

このとき感じたのは宮古高校がチョッと問題がありまして避難場所でないということで南町の人たちは大変不満を持っているようでした。近所の人たちは宮古高校は4階建てですので避難場所にすべきだとの声が強くなっております。次の日は避難場所が山口小学校に移りました。そこで名簿に記入したら郵便物が学校の方に届きまして驚きました。そのような大変貴重な体験をしました。町内では緊急時には宮古高校を避難場所としてほしいとの事でお願いしております。

縦割り行政が問題だと思います。ちなみにホテルの方は床上１m70cmまで入りまして機械類が被害を受けました、借金をして取換え作業をしました。従業員は一時待機してもらい、5月22日からオープン致しました。同業者の中では早期に開業できた方だと思っております。まだまだ海の方は大変な事態になっておりますが早く再開でき